

### 第3回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 令和4年10月5日（水） 15:00～16:30  
 【場所】 北別館4階 第1会議室  
 【出席者】 検討委員会委員 13人（欠席4人）  
 教育委員会事務局 5人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 議題

#### （1）第2回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について

発言者	発言内容
委員長	議題に入る前に、会議の公開・非公開について、本日の会議も前回の会議と同様に原則公開を進めたいと思います。 状況によっては会議の途中でも公開・非公開の取り扱いをお諮りすることがあります。このような取り扱いでよろしいでしょうか。
全委員	異議なし
委員長	それでは、まず議題の1、第2回検討委員会の摘録の確認について、すでに資料①でご確認いただいていると思います。 摘録については、委員の皆さんに承認いただき、修正等がなければ、この内容にて情報公開センター、ホームページで公表されることとなりますが、この内容についてはいかがでしょうか。
全委員	異議なし
委員長	それでは前回、署名委員に指名しました、「後藤副委員長」と「西田委員」においては、会議終了後、それぞれ署名をお願いします。 事務局どうですか。
事務局	摘録については、この内容で公表させていただきます。

#### （2）複式学級が発生する学校における学校再編の考え方のまとめ、答申書（案）の検討

発言者	発言内容
委員長	それでは、次に議題の2、「複式学級が発生する学校における学校再編の考え方のまとめと答申書（案）の検討」に入ります。 まずは、複式学級が発生する学校における学校再編の考え方のまとめですが、前回の検討委員会が出た検討課題のまとめについて、皆さんと確認したいと思います。 前回の検討委員会では学校再編の考え方については、3つの検討課題を柱として議論し、また答申に繋がる協議の柱でもあり、あわせてこれまでの大牟田市教育委員会の学校再編の考え方を踏まえて協議しました。資料4ページの検討課題のまとめを読み上げたいと思います。 検討課題の1、上内小学校は既に小規模特認校制度を運用しているが、それでも複式学級が解消されない場合、どうするのか。

	<p>このまとめとしては、保護者・地域からの合意形成が得られた場合、学校再編の原則どおり、再編となるが、保護者・地域からの合意形成が得られない場合は、小規模特認校制度を継続する。</p> <p>次に検討課題の2、玉川小学校は、R5年度に複式学級の可能性があるが、どう回避するのか。</p> <p>また、市内のその他の学校で複式学級が発生する場合、どう回避するのか。</p> <p>このまとめとしては、保護者・地域からの合意形成が得られた場合、学校再編の原則どおり、再編となるが、保護者・地域からの合意形成が得られない場合は、複式学級回避のため小規模特認校制度を導入する。</p> <p>また、市内のその他の学校についても同様に保護者・地域からの合意形成が得られた場合、学校再編の原則どおり、再編となるが、保護者・地域からの合意形成が得られない場合は、複式学級回避のため、小規模特認校制度を導入する。</p> <p>検討課題の3、小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級が生じる場合は、どうするのか。</p> <p>このまとめとしては、学校再編について再び協議に入ることとする。</p> <p>以上が、前回皆さんからご承認をいただいた検討課題のまとめで、今回このような形で文章化したものです。</p> <p>このまとめについて、皆さんよりご意見等はないでしょうか。</p>
委員	<p>小学校の再編については、子ども達が減っていく中でどうしても避けては通れない部分だと思うが、一方、大牟田市としては、出生率を何とか維持していき、魅力あるまちづくりを進めていきたいという考えもあります。そうすると、それぞれの地域に小学校があるということが一番の理想かなと考えます。そうは言いながらも、人が減っていく中でどうするのかという課題もあります。</p> <p>これはWebのニュースで読んだ内容ですが、ある自治体で先生の数が圧倒的に足りていない中で、2クラスをオンラインでもって一人の先生が受け持つという苦肉の策で対応されていました。</p> <p>それを読んだ時に、上内小学校と玉川小学校が複式学級になる可能性がある中で、オンラインで双方の通信を可能にしたら、何とか対応が出来るようにならないかと思ったところです。</p> <p>あくまで対面ということが望ましいけれども、複式学級を回避する方法として二つの学校をオンラインで繋ぐ。お互いの顔が見えるような環境づくりや担当される先生は大変だと思うし、いろいろなやり方の検討は必要だが、そうすることによって、それぞれ少人数の学校同士の交流にも繋がっていくと思います。</p> <p>今後、大牟田市以外にも生徒数が減っていくという課題を抱えている自治体が多いと思うので、市が実際に取り組めるかどうかは、いろんな課題整理とか検討が必要だと思うが、出来るとするならば、全国的にも先進的な事例になっていくと思うので、国とかにも働き掛けとかをして、進めていけるのではないかと考え、意見させていただきました。</p>
事務局	<p>今、各学校には、オンライン授業が出来るような環境整備を整えています。子ども達にも一人1台のタブレット端末を配置して、学習の道具の一つとして活用しているところです。それで、先生方も授業の中でタブレット端末をどう使っていくのかということ、学校で様々な取り組みをしながら検証しています。</p>

	<p>先ほどのようなご意見があった教職員の配置に関しては、国の方針として複式学級について、一つの学校で隣接する学年が1年生を含むときは8人以下、それ以外で16人以下となった場合は、一学級にする。そして、一人の先生が二学年を受け持つというような先生の配置となっています。</p> <p>だから、一つの学校でそういう配置となっているので、例えば、上内小学校と玉川小学校を一緒にして先生を配置するという事は、原則出来ないことになっています。</p> <p>オンラインで授業を結ぶということは、学習内容の工夫としては出来るけれども、複式学級を解消するという手段としては、難しいと考えます。</p>
委員	<p>現状の制度として、それが不可能ということは今の説明で分かりましたが、制度をどう見直していくのかということ、一地方自治体で出来ることではないけれども、こういう問題を抱えている自治体は数多く存在すると思うので、やはり地方から国を動かしていく、オンラインという整備も進んでいる中で、そういう方向もあるのではないかと国に対して働き掛けをするべきだと個人的に思ったところです。</p>
委員長	<p>全国的にも同じように子どもたちの数はどんどん減っていますが、この検討委員会の中での共通認識は、複式学級の回避です。複式学級というのが、いかに弊害があるのかということを確認しました。それをいかに回避していくのかということが、この検討委員会の大きな目的でもありました。</p> <p>その中で、再編とか、今まで検討してきた小規模特認校制度、いろいろな方策を取ってきた中でオンラインという新たな方策も、一つの検討課題として、これからいろんなところの自治体の中で出てくるだろうと思います。</p> <p>そういった中においては、我々も先進的な取り組みというものも見えていくべきだろうと思います。それが良い効果が出て、何ら問題や支障もないということになると、おそらくそういったやり方も一つの方策として出て来るであろうし、そうなれば、今、事務局からありました教職員の配置、これも現実的に出来るか出来ないかの問題で、いろんな対応について検討がされていく道もあるのではないかと考えたところです。貴重なご意見だったと思います。</p> <p>他に何かありませんか。無ければ以上が検討課題のまとめの確認ですが、皆さんよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし
委員長	<p>それでは、承認されましたので、以上のような内容でまとめたいと思います。</p> <p>次に、答申書（案）の検討に入りたいと思います。</p> <p>前回、次回の会議で皆さんに答申（案）を提示するとお伝えしていただきました。この答申（案）については、先ほど承認いただいた3つの検討課題のまとめを基本に、私と後藤副委員長にて答申（案）としての整理を行いました。</p> <p>資料5ページにある答申（案）については、事務局において文言の整理、あるいは文面の体裁を整えて作成していただきましたので、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	別紙資料に基づき説明
委員長	この答申（案）について、皆さんよりご質問、ご意見等はないでしょうか。
委員	<p>先ほどの検討課題のまとめ、それからこの答申（案）について、そこに文言がある通りまさに妥当であろうと思います。</p> <p>そして、これまで示された様々な資料で、今後の児童生徒数の推計等を考えた場合、今後策定される小学校再編の次期計画については、令和7年度に検討する説明があったと思います。</p> <p>それで、今が令和4年度であるので、検討して、そしてまた合意形成を図って修正と繰り返しながら実施となった場合には、相当な時間が掛かるような感じを受けています。</p> <p>そういう意味では、この策定の次期については、多少見直した方が良いのではないかというような気がしています。</p> <p>先ほどありましたように、学び方については日進月歩で、本当に教育指導の在り方というのは、去年と今年、今年と来年ではどんどん変わっていくものでもあります。それと同じように社会の在り様、子ども達の数もどんどん変わっていく中で、スピード感を持って新たな状況に対応していくと、それはまさに今学んでいる児童・生徒が学びの場から取り残されないようにするためにも、より良い教育環境を準備していくということが、社会的な責務ではないかと感じるどころです。</p> <p>繰り返しになりますが、今回のこのまとめ、答申（案）については、この方向で良いのではないかと思いますけれども、今後、小学校再編の次期計画の策定については、検討時期を見直した方が良いのではないかという印象を持っています。</p>
委員長	<p>今、委員から小学校再編の次期計画の策定期間について、令和7年度から始めるということであったが、これも見直すべきではないかという提案がありました。</p> <p>ただ今の提案について、ご意見等ありましたらお伺いします。</p>
委員	<p>私も同じように考えます。</p> <p>これまでの学校再編も、計画を策定してから実際に再編が終わるまでには、地域や保護者への説明、または再編協議会など、丁寧な対応をされてきたということを聞いています。</p> <p>ただ、その対応をしていくためには、かなりの時間を要すると思いますし、これからの児童・生徒数の推計から見ても、早めに対応していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>今後の再編を考えていく上では、策定期間について見直しの検討をした方が良いのではないかと考えます。</p>
委員長	<p>ただ今、提案に対して賛同のご意見がありました。</p> <p>そのほかご意見等はありませんか。</p>
委員	先ほども言いましたように、学校再編は避けて通れない中で、地域を作るという視点では、一方では、現実問題として難しいとは思いますが、どういうふうに学校を残していくかということも検討すべきと子供を通わせる親からすると思うところがあります。

	<p>それで、先ほどの分に繋がっていきますが、生徒が少なくなっていく中で、オンラインで学校を繋ぐとか、いろんな方法を、再編を急ぐだけではなくて、そういう可能性とかをぜひ検証していただけたらと考えます。</p>
委員長	<p>再編については、今まで教育委員会の考え方も陣頭を切って説明をしていただいて、その中でいつも思うのは、統合ではない。これは何回もこういった会議の中で言ってきた。「統合ではなく再編」ですと。新しい学校を創り上げるという意識なんですね。</p> <p>だから、当然、基準というのは決めているのですが、それを基に、では統合しましょう。要は無くしましょうというのが前提に来ているわけではありません。これは、委員にしっかり意識してほしいのです。これは皆で今までも共通認識をしてきました。</p> <p>だから、新たな学校を再編で創りましょうと。そのような中、この答申にもありますが、保護者・地域の合意形成がなかったら、これは出来ませんということを、きちっと打ち出してきているわけです。</p> <p>だから、基準に基づいて、さあ統合しますよということではないということをお私はずっと言って来ていますし、新たな良い教育環境づくりをしましょうというのが、一方にはあるということ、しっかり認識して、今日も皆さんで共通理解を図っていただけると良いなというふうに思います。</p> <p>ただ、委員が先ほど言われました、別の道、方策で良いものがあれば、おそらく全国的にもそういった道が開けてくるのであれば、そういった道もあるのでしょうかけれども、今の段階では、どうかというのが現実問題としてあるということだろうと思います。貴重なご意見でした。</p> <p>他に何かご意見等はありませんか。</p>
委員	<p>検討課題のまとめを承認された後ですが、私自身、元々上官小学校のPTA役員として、上官小学校から大牟田中央小学校の再編を経験して、十分再編の意義というのは理解しているつもりです。</p> <p>新たな学校づくり、地域づくりというところで、いろんな検討委員会とか、再編の協議会に入らせていただいたけれども、再編となると地域への丁寧な説明があつてからの実施となるが、この検討課題のまとめや答申(案)にもあります「保護者・地域からの合意形成が得られた場合」とか、「理解が得られなければ」とあるのは、何を持ってこの合意形成になるのか。</p> <p>もちろん、100%の合意形成はあり得ないと思っています。反対もあり、進めるのだけれども明確な基準というのは無いとは思いますが、どういったところで合意形成と捉えるのか、ちょっと答えにくい質問になるかと思っておりますけれども、お聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>ここで言う何を持って合意形成かということですが、保護者の方、地域の方に丁寧に再編の説明を行っていくしかないと考えます。</p> <p>しかし、100%の方が再編にOKですという意見はありません。そこはそれぞれの団体、PTA、まち協の方へ再編の説明の中で子どもたちのために再編をやりましょうというような状況になれば、再編を行っていますので、基準という基準はありません。</p>
委員	<p>感覚的なものというか、説明会で感じ取る肌の感覚というか、感覚的なもので決めるというようなことなのか。</p> <p>それでは、今までの再編は、みなと小学校、大牟田中央小学校とある中</p>

	<p>で、上内小学校だけ小規模特認校になって、それぞれの説明会の中で、じゃあうちも小規模特認校で良いのでは、これは少数の学校はより声が大きいです。</p> <p>ただ、それはなり得なかったというのが、例えば、上内小学校は、地域の方で言えば公民館の加入率が物凄く高く、他の学校では50%以下というのがほとんどです。そういったところの違いがあるとか、明確な基準は無いと思うのですが、何か合意形成という部分が分かりにくいという感じがします。</p>
委員長	<p>非常に難しい、悩ましい話ですが、数的に何か基準を設けて、何%以上だとOKですよというのは、非常に難しいですよ。</p> <p>こういった問題は、いわゆる総論賛成、各論反対という世界になります。他にもたくさんあります。その中で、すべて100%OKというのはまずないと。これは個人の話であり、委員長としての話ではありませんが、その中で、例えば90%以上であればOKという基準を作ること自体がおかしいことだと思います。</p> <p>だから、例えば再編協議会の中でもあるだろうし、保護者の方、地域に行つての説明、いろんな場があります。上内小学校でのアンケートもいろんなことで、これも曖昧ですが総合的な判断でしか出来ないのかなと、私個人としては思っています。</p> <p>だから、今言ったように、きちっと線引きをして、これ以上だったら良い。これ以下だったら駄目というようなことは、非常に難しい話ではないかと。曖昧な感覚で申し訳ないですが、そういったことではないだろうかと思っています。</p>
委員	<p>何を言いたいかという、きちんとした説明と、デリケートな課題でもあるので、その後のフォローアップをお願いしたいというようなことです。</p>
委員長	<p>それについては、再編した後、必ず総括をしますので、その中でアンケートを取って何が課題あったのか、それはその時の課題について押さえて、次にもし再編する場合に、きちっと活かしましょうというのが、総括の仕方です。</p> <p>ただ、課題があるのは分かっていますから、それをいかに解消していくかです。それが次につながるやり方ですので、そういったやり方をぜひ、今後、事務局の方には、やっていただきたいと思います。</p> <p>その他、何かご意見等はありませんか。</p>
委員	<p>私はずっと県立高校に勤めていましたが、皆さん記憶にあるかと思いますが、大牟田市内の県立高校の再編が十数年前にありまして、これは筑後地区全体を通して、喧々諤々の議論があり、合意形成には相当苦しいものがありました。</p> <p>大牟田市内の県立高校も現在のような状況になって、県立高校の場合、第1次、第2次とあったわけですが、この先もというような話は聞かないわけではありませんけれども、高校の方は通学区域が非常に広いので、合意形成がその分難しいというところがあります。</p> <p>小中学校は地域に密着しているのでなおの事、学校と地域の結び付きが深く、先ほど委員が言われたように、いかに学校を残すかというのは、小学校段階でも、中等教育段階でも、地域の方々の強い願いというのは最後まで、再編が終わった後でもあります。</p>

	<p>当時、高校も統廃合と言ったら駄目と再編だと。新しい学校を地域の方々と共に創るんだという意識で取り組んできましたけれども、仮に再編が進んだ後でも、学校が無くなったという感覚が残って、同窓会を含めて後に引くような部分もあったかと思います。</p> <p>そういう意味では、合意形成を進めていくということは、非常に難しいことで、今、委員長からもありましたように、線引きが難しいところではあります。</p> <p>しかし、丁寧に進めていく上でも、諮問に対する答申（案）としては、現状を市民の方々にも、地域の方々にもお知らせすると同時に、子ども達の学びを守るために、オンラインで通じた学びも今後どんどん取り入れていくという教育指導の改善、これは当然進められるとは思いますが。</p> <p>同時に学校という場をいかに活気がある生き生きとした場、対面の場、体験活動の場、社会的な学びの場としての学校教育の機能を維持していつて、子ども達の学びの場を守るために、次期計画の策定については、見直しをする方向で、そのことをこの諮問に対する答申（案）の中にもやりわりとでも良いので含めていただきたいと思います。</p> <p>諮問内容とは違いますが、それでも他に教育内容に様々な取り組みが出来るかということが含めることが出来るのであれば、それを加えていただければと思います。</p>
委員長	<p>県立高校の再編の貴重な話を聞くことが出来ました。</p> <p>その他何かご意見等はありませんか。</p> <p>事務局から提案に対して何かありますか。</p>
事務局	<p>令和7年度に予定している小学校再編の次期計画ですが、今の第2期実施計画の中に、小学校再編は次期計画で改めて策定することとして、令和7年度に検討委員会を設置して、検討を行うと謳っております。</p> <p>今、委員からのご意見のとおり、今後、児童生徒数の推計から小規模化の進行等も考えられます。</p> <p>教育委員会としては、計画策定から計画が完了するまで一定期間を要しますので、7年度からの小学校再編の計画策定の時期については、見直すことも必要ではないかと考えているところです。</p>
委員長	<p>市としての考え方もお聞きしました。</p> <p>繰り返しになりますが、諮問理由にも書かれており、先ほどから出ておりますが、今後の児童生徒数の推計から、学校の小規模化が進行すると、複式学級の発生が見込まれるというふうな文言があります。</p> <p>このような状況から、先ほど委員から提案いただいた内容ですが、答申（案）に追記したいと思っておりますが、皆さんにお諮りしたいと思います。</p> <p>答申（案）とただ今の提案の追記について、あわせてご承認いただけますでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>それでは、提案いただいた内容の追記も含め、答申（案）のご承認をいただいたので、この最終的なまとめについては、私と後藤副委員長に一任していただきたいと思います。そのような取り扱いでよろしいでしょうか。</p>

全委員	異議なし
委員長	以上、答申の決定がなされました。 それでは、ここで一旦休憩といたします。 再開後、議題3、議事のまとめと次回について進めていきます。
	休憩

### (3) 議事のまとめ、次回について

発言者	発言内容
委員長	<p>会議を再開します。 議事のまとめと次回について進めます。 まず初めに、前回の摘録を確認しました。 次に、3つの検討課題のまとめと答申（案）の検討を行いました。 これまで皆さんの熱心な議論、審議等をいただき、おかげで答申が出来る運びとなりました。また、スムーズな運営にご協力いただき感謝を申し上げます。 このため、検討委員会の当初のスケジュールでは、10月中旬に最終の第4回の会議を予定していましたが、本日が全員で集まる最終の検討委員会にしたいと思います。 なお、今後のスケジュールですが、大牟田市教育委員会への答申については、私と後藤副委員長で対応したいと思います。 また、日程については、現在、後藤副委員長と調整中ですが、明後日の10月7日（金）にどうかと思っています。 皆さん、そのような取り扱いでよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし
委員長	<p>以上で議題は終わりました。 それでは最後に、この検討委員会に参加いただいたの感想など、どういったことでも構いませんので、皆さんから各自一言ずつお願いしたいと思います。</p>
全委員	<p>自由意見（主な趣旨等）</p> <p><u>（今後の再編の進め方に対する意見の趣旨等）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編の進め方について、全員が納得とはならないが、理解できるような形で進めていただきたい。</li> <li>・地域にはいろんな意見があるので、その調整が一番難しいと思う。</li> <li>・再編の際には丁寧な説明とその後のフォローもぜひお願いしたい。</li> <li>・市民の皆様にもなぜ複式学級が大変なのかイメージが出来る説明をお願いしたい。</li> <li>・統合ではなく新しい学校を創るという意識を持ち、子どものため、地域のために進んでいきたいと改めて思った。</li> <li>・子ども達のためという思いで、皆さんが一つになることを目指していると、この検討委員会に参加し強く思った。</li> <li>・小学校の再編をさらに進めていく場合、小・中学校のつながりなど踏まえ、どこに主軸を置いていくのか考える必要がある。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心は子どもだと思う。「親のエゴ」は駄目である。</li> <li>・再編になった時「地域はまとまらなければいかん」というようになるのが、再編だと思う。</li> <li>・再編後も子ども達が生き生きと活動が出来る教育環境をいかにして創り、教育内容を充実させていくのか、これに尽きると思う。</li> </ul> <p>(過去の再編等の経験に関する感想の趣旨等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者も再編してすぐはいろいろあったが、すべては子ども達のためという思いの中で交じりあっていった。</li> <li>・複式学級で勤務した学校が再編した際には、新しい学校を創る意識ではあったが、やはり「統廃合」という感じでさみしい思いがあった。</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こういう討議を重ね再編が行われていると分かり、良い勉強となった。</li> <li>・会議を通じ今後のPTA活動に役立つ意見が聞けた。</li> <li>・学校の歴史も長いので、いろいろな意見、思いがある。</li> <li>・教育現場は、2年、3年のサイクルで回っている状況なので、検討もフレキシブルに対応していく会議になっていかなければならない。</li> <li>・統廃合とか再編の話ではなく、子どもが増えてどうしようというような会に参加したい。</li> <li>・保護者が通わせたいと思う魅力ある学校づくりをお願いしたい。</li> <li>・職員を増やし余裕のある指導が出来れば、もっと変わると思う。</li> <li>・先生の数が減っても業務のコンテンツは変わらないので、苦労も多いと改めて感じたが、そういう中でも様々な工夫をされてあった。</li> </ul>
委員長	<p>皆さんありがとうございました。 事務局から何かありませんか。</p>
事務局	<p>7日に市へ答申いただくということですが、答申の日をもって皆さまの委員の任期も終えることとなります。本当にありがとうございました。</p> <p>なお、答申の最終版については、答申に併せて、後日皆さまにも郵送させていただきます。</p> <p>また、本日の会議の摘録についても、後日書面を送付しますので、ご確認いただいた後、公表することとします。よろしく願いいたします。</p>
委員長 副委員長	(あいさつ)
委員長	これをもちまして検討委員会での審議を終了いたします。

### 3 閉会